

取組内容（実装部門）

表彰区分	市	推薦都道府県	石川県
地方公共団体名	小松市		
取組名称	デジタル活用による患者・来訪者の負担軽減		
連携自治体、企業、団体等	小松市（小松市民病院）		
デジタルを活用した取組の概要（デジタルを活用した取組の全体概要と解決した個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合の分野） 医療
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>小松市民病院は、石川県の南加賀医療圏（小松市・加賀市・能美市・川北町）の中核医療機関で、小松市が運営する公立病院である。</p> <p>コロナ禍においても、医療サービスの質や利用者の満足度を高めるため、非接触方式の丁寧な対応と利便性向上に努めている。</p> <p>来院する患者・来訪者に対し、具体的に提供するデジタルサービスの主なものを列挙。</p> <p>① 診察券代わりに顔認証で本人確認できる外来受診受付 （令和2年1月に導入。全国2例目、自治体病院では全国初導入）</p> <p>② 患者ごとに最適な問診事項を生成するAI問診 （AIが最適な問診事項をタブレットに自動生成、システムに問診共有）</p> <p>③ コロナ禍における最新機器等の積極導入 （分娩監視装置、感染管理システムなど）</p> <p>④ 会計窓口キャッシュレス化 （診療料金、診断書の文書料などの医療費支払のキャッシュレス決済や、インターネットバンキングの活用）</p> <p>⑤ 顔認証による手術室の入退室管理 （感染防止及びセキュリティ対策のため顔認証による本人認証）</p> <p>⑥ 通院負担軽減のためのオンライン診療（令和4年6月開始予定） （スマートフォン等で時間や場所にこだわらずに受診）</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>コロナ禍における新しい生活様式の対応、職員の働き方の見直しはもちろん、何よりも患者と利用者の皆様へ、誰1人取り残さず、やさしく安全で高度の医療を提供する不断の努力が常に求められている。</p> <p>【解決した課題の具体的内容】</p> <p>前述のことから、デジタルを活用したサービスを実装することによって、「患者の待ち時間短縮につながるスマート対応、職員の業務効率化、感染対策強化」といった利便性と安全性の向上改善が実現できた。</p>		

<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>①顔認証登録患者数：令和4年5月時点：1,011人 ②患者待ち時間短縮：0.5H/人、診療終了時間短縮：1H/日 ※他病院での事例 小松市民病院は令和4年5月より運用開始 ③分娩監視装置使用回数：3～4件/月 これまでの新型コロナ入院患者数：329人（令和4年5月19日現在） ④クレジット支払割合：令和3年度28.90%、令和2年度27.75% ⑤一日の扉開閉回数：約200～300回</p>
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①顔認証による外来受診受付機導入により診察券が無くても受付が可能になった。併せてそれ以外に診察券が必要であった採血受付機、自動精算機も診察券が不要となるシステムに更新し、受付から診療、会計まで診察券レスでの運用が可能となるように工夫を行っている。その他、顔認証用に撮影した顔写真は電子カルテ上に表示されるため、外来や救急、検査、手術時等での患者取り違い防止にも効果がある。なお、感染対策として、令和4年4月からマスク着用時の顔認証を可能とした。 ・②AI問診では問診内容を電子カルテに共有する際に、閉域網の専用線でデータ通信を行うことで、サイバー攻撃を防ぐ対策を行っている。 ・③分娩監視装置は胎児の心拍数や妊婦の陣痛周期を遠隔でリアルタイムに確認でき、職員のマンパワーを削減している。 感染管理システムは電子カルテと連携し、リアルタイムな検査結果等の情報を基にウイルス保持者の把握ができ、感染拡大の早期発見や感染経路の調査を行うことができる。また職員のワクチン接種情報や抗体価を把握、管理できるため、抗体価が基準値未満の職員を簡便に確認することができるので、感染拡大防止やワクチン接種率の向上が期待できる。 各出入口には感染発生の早期から非接触方式の体温計を設置、密となる箇所にモニター35基を配置し、CO2濃度の見える化による換気を促進、外来待合に紫外線ウイルス除去装置を20基整備するなど感染対策を行った。また、感染発生・災害時に迅速な緊急連絡体制の構築のため、LineWorksを活用している。 ・④平成25年6月から、24時間クレジットカードでの医療費の支払いを可能としたことにより、患者のニーズへの対応と非接触方式による感染症対策に資する。また、令和4年4月から、公金をインターネットバンキングで取り扱っており、リアルタイムでの入出金の管理・確認が可能となり、スムーズな業務実施が可能となっている。 ・⑤顔認証による入退室管理は、なりすましが困難なためセキュアであり、物理的な鍵やICカードを持つことやパスワードの設定が不要であるため、紛失や盗難によるセキュリティリスクがなくなる。また非接触方式で認証できるため感染症対策としての活用ができる。 ・⑥オンライン診療の「感染症のリスクを避けられる」「外来診療の待ち時間がない」「インターネットに接続できればどこでも診療を受けられる」といった利点は患者の利便性や通院の負担軽減に資すると思われる。
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月：アバターロボットによる非接触方式でのリモート面会対応や入院患者に対する医師のリモート問診を試験的に実施 ・医療費支払いについて、コンビニ決済（令和4年9月予定）やQRコード決済（令和4年12月予定）を導入予定

小松市民病院における「デジタル活用による患者・来訪者の負担軽減」概要図



顔認証で外来受診

● 顔認証再来受付機の導入

- ・外来受付から会計まで、診察券なし
- ・事前の顔登録(写真撮影)が必要
(玄関で無料撮影 8:30~17:15)



電子カルテの問診

● AI問診の導入

- ・AIが患者さんごとに最適な問診事項を自動生成
- ・タブレットで入力した問診事項を電子カルテに反映

外来患者さん ➡ **待ち時間の短縮・利便性向上**

問診に当たる看護師及び
電子カルテに記入する医師 ➡ **業務の効率化**



最新機器等の積極導入



● 感染管理システムの導入

電子カルテと連携したシステムで
【早期把握】➡【素早い対応】➡【再発防止】

院内感染防止策をより一層強化!

キャッシュレス決済

● クレジットカード対応

- ・非接触による決済
- ・JCB、アメリカンエキスプレス、VISA、Master、ダイナース



顔認証で入退管理

● 顔認証による手術室の入退室管理

- ・非接触による入退室管理の実施



オンライン診療

● オンライン診療の開始

- ・スマートフォン等から時間と場所に
問わずに受診

